

2024年11月度 J.フロントリテイリング 百貨店事業 売上速報

※当社は2017年度から国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、IFRS売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、IFRSの確定値により毎月中旬に開示します。

■ 店舗別売上高対前年増減率（%）

店舗	11月度	下期累計	店舗	11月度	下期累計
大丸 心齋橋店	8.8	5.2	松坂屋 名古屋店	6.8	0.9
大丸 梅田店	12.5	10.2	松坂屋 上野店	5.7	8.8
大丸 東京店	9.3	5.7	松坂屋 静岡店	6.0	11.2
大丸 京都店	7.0	1.4	松坂屋 高槻店	3.5	0.2
大丸 神戸店	9.7	5.6	店 計	8.1	4.9
大丸 須磨店	3.7	0.4	法人・本社等	▲5.9	10.6
大丸 芦屋店	0.2	▲0.5	大丸松坂屋百貨店合計	7.6	5.1
大丸 札幌店	8.2	9.2	博多大丸	9.5	10.1
大丸 下関店	▲9.9	▲6.9	高知大丸	2.3	▲1.0
			百貨店事業合計	7.6	5.4

■ 概 況

- ・ 11月度の売上高は、ラグジュアリー、化粧品、宝飾品が引き続き好調に推移したことに加え、10月と比較して気温が低下したことにより秋冬物衣料品が活発に動いたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年7.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同7.6%増となった。
- ・ 店舗別では、15店舗中14店舗が前年実績を上回った。11月20日に本館4階、11月29日に本館3階と北館地下1階をリニューアルオープンした松坂屋名古屋店では、新たに構築したファッションやジュエリー、フレグランスなどを集積したフロアのほか、品揃えを2.7倍に拡大したお酒売場が人気を集めるなど、計画を上回る好調なスタートを切った。
- ・ 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高（速報値）は、対前年31.9%増（客数同42.3%増、客単価同▲7.3%減）となった。

【参考】 11月度の大丸松坂屋百貨店の店計売上（法人・本社等の本年・前年実績を除く）は対前年8.1%増、うち国内売上高（免税売上高の本年・前年実績を除く）は対前年5.0%増となった。

大丸松坂屋百貨店合計（既存店）の免税売上高は対19年度72.1%増、対18年度73.1%増であった。

お問い合わせ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートコミュニケーション室
	IR推進担当	03-6865-7621
	グループ広報担当	03-6865-7616